

水道用水供給事業

中期経営計画（経営戦略）の達成状況

（令和5年度）

三条地域水道用水供給企業団

1 事業・取組実施計画に関する状況（基本方針別）

（1）安全な水道水の供給

令和元年度に策定した水安全計画の検証と改善を行い、あわせて徹底した水質管理に努めた結果、水質異常はありませんでした。

今後も、水安全計画に則った管理に努め、安全な水道水を供給し続けます。

区分	令和5年度		
	計画	実績	計画値との差
水安全計画策定等	計画の検証・改善	実施	実施
水質異常発生回数（回）	0	0	0

（2）防災対策の推進

令和5年度は、水管橋耐震化工事は行いませんでした。

災害時対応を想定した連絡対応訓練を実施したほか、浄水場の火災発生を想定した避難・消火訓練等を実施しました。

区分	令和5年度		
	計画	実績	達成状況
水管橋耐震化工事	—	—	—
防災訓練実施回数（回）	3	3	達成

（3）健全な経営の持続

創設残事業については、浄水処理施設建築工事、浄水処理施設建築電気・機械設備工事、沈殿池機械設備工事及び三条第一調整池敷地造成工事を2か年工事で着工し、三条第一支線送水管布設工事が、計画どおり完了しました。

施設・設備更新事業については、令和5年度は行いませんでした。

経営の効率化を図るための計画目標である、職員数、外部研修参加人数及び経常収支比率は、それぞれ計画を達成しました。

区分	令和5年度		
	計画	実績	達成状況
創設残事業工事	計画期間中、各年度工事等実施（R9完成）	実施	達成
施設・設備更新事業	—	—	—
職員数（人）	14	14	達成
外部研修参加人数（人）	2	5	達成
経常収支比率（%）	140.82	141.68	達成

2 投資・財政計画に関する状況

(単位：千円)

(1) 投資計画

建設事業（創設残事業）及び更新事業は、計画どおり着実に実施しました。

更新事業費について、新潟県の大谷ダム更新事業が履行されず、負担金が減少したことにより、計画値を下回りました。

区分	令和5年度		
	計画	実績	計画値との差
建設事業費（創設残事業費）	1,043,875	1,044,868	993
更新事業費	27,193	17,872	▲ 9,321

(2) 財政計画（収支計画）

ア 収益的収支計画

料金収入は、責任水量制の料金を中心としていることから、ほぼ計画どおりの収入を確保しました。

経常的管理経費は委託料、薬品費及び大谷ダム管理負担金等が減額したことにより、水道事業費用は、計画値を下回りました。

その結果、収支差引後の損益は計画を上回りました。

(単位：千円)

区分	令和5年度		
	計画	実績	計画値との差
水道事業収益（A）	1,235,524	1,235,109	▲ 415
1 料金収入	1,090,434	1,090,448	14
2 売電収入	14,177	13,747	▲ 430
3 長期前受金戻入	128,647	128,647	0
4 繰入金、雑収益等	2,266	2,267	1
水道事業費用（B）	840,977	836,511	▲ 4,466
1 経常的管理経費	333,523	328,179	▲ 5,344
2 減価償却費等	393,077	393,075	▲ 2
3 支払利息	99,967	99,646	▲ 321
4 雑支出等	14,410	15,611	1,201
5 特別損失	0	0	0
収支差引（A）－（B）	394,547	398,598	4,051
損益（収支差引消費税等抜額）	328,985	333,793	4,808

イ 給水原価、供給単価

給水原価は、計画に比べ下回り、供給単価はほぼ計画どおりであったことから、料金回収率は計画値を上回りました。

区分	令和5年度		
	計画	実績	計画値との差
給水原価（円）	61.49	61.09	▲ 0.40
供給単価（円）	91.50	91.63	0.13
料金回収率（%）	148.80	149.99	1.19

ウ 資本的収支計画

新発の企業債が減少となったことから、資本的収入は計画値を下回りました。

創設事業関連工事の請負差金や、企業債利息の実行金利の軽減による減少から、資本的支出は計画値を下回りました。

令和5年度の累積留保資金残高は、計画値を上回ることができました。

（単位：千円）

区分	令和5年度		
	計画	実績	計画値との差
資本的収入（A）	1,629,900	1,624,400	▲ 5,500
1 企業債	937,100	931,600	▲ 5,500
2 国庫補助金	346,400	346,400	0
3 建設時出資金、繰出金	346,400	346,400	0
資本的支出（B）	2,158,660	2,150,330	▲ 8,330
1 創設残事業費	1,043,875	1,044,868	993
2 施設・設備更新費等	27,193	17,872	▲ 9,321
3 企業債利息	101,203	101,202	▲ 1
4 企業債償還金	986,389	986,388	▲ 1
災害復旧債償還金（C）	0	0	0
収支差引（A）－〔（B）－（C）〕	▲ 528,760	▲ 525,930	2,830
累積留保資金残高	570,613	577,492	6,879

(単位：千円)

エ 企業債残高

企業債の令和5年度末残高は、新発債の減少により計画値より少額にとどまりました。

区分	令和5年度		
	計画	実績	計画値との差
企業債残高	16,039,882	16,034,383	▲ 5,499

3 令和5年度の計画達成状況の総括

事業・取組実施計画に掲げた事業、目標値及び投資・財政計画に掲げた計画値については、ほぼ計画どおりに実施、達成することができました。

今後も本計画を着実に実行していくとともに、更に経営の効率化を進めることにより、経営基盤の強化と健全な経営を持続してまいります。